

猪俣津南雄 （幼少） 評論家。明治二十二年四月二十三日新潟縣生れ、  
 昭和十七年一月十九日歿（二八才一四四）。排號鹿語、筆名圓城寺哲、  
 廣末津南雄、新島一作、柴耕介、武藏大郎等。早稲田大學専門部政經  
 科卒。大正四年アメリカ留學。十一年日本共產黨結成に參加し、のち  
 對立。昭和二年雜誌『勞農』同人（四年脱退）。十二年人民戦線事件  
 の檢舉、十四年病を獲て執行停止となり出所。

著譯書 『革命ロシア研究十講』（合著・前衛社）田所照朗編、大正十  
 一年十月二十八日酒井書店）、『最近の獨逸研究』（合著・表現社編、  
 大正十二年一月十八日（松堂書店）、ジエームス・ハヤヴェー・ロビ  
 ンスン著『新思想の普遍化』（譯、大正十二年十月十五日臥龍閣）、  
 ソオスタイン・グエブレン著『特權階級論』（譯、大正十四年二月十  
 日新光社）、『マルクス著作集・一 經濟學批判』（譯、大正十五年  
 十月十六日新潮社）、『現代ブルジョアジーの政治的地位』（昭和一  
 年十二月二十日南窓書院）、『帝國主義研究』（昭和二年一月八日改  
 造社）、『現代日本研究（マルクスイズムの立場あり）』（昭和四年九  
 月十日改造社）、『没落資本主義の「第二期」——日本資本主義は没落  
 したか？』（昭和五年九月二十八日大衆女論社）、『インフレーション  
 ヨンの基礎理論』（昭和八年五月一  
 十日改造社）、『軍備・公債・増  
 税（大衆の理解  
 の爲め）』（昭  
 和九年十一月一



十日改造社）、『日本に農業政策を  
 於ける』

没落資本主義の「第三期」 猪俣津南雄著  
 猪俣津南雄著  
 没落資本主義の「第三期」  
 日本資本主義は没落しないか？  
 一

産業組合』(昭和十年十一月)二十四日學藝社)、  
 『農村問題入門』(昭和十一年四月)二日中央公論社)、  
 『横断左翼論と日本人の戦線』(猪俣津南雄著作・遺稿刊行会編、昭和四十九年十月二十一日而立書房)、  
 『踏査報告 窮乏の農村』(昭和五十七年六月十六日岩波書店「岩波文庫」)等。